

無機可とう形シーラーレス塗材

DIA

ダイヤ  
スーパームキ

JIS A 6909 可とう形外装薄塗材Si

F☆☆☆☆

人と環境に優しい水系の省工程仕上げ、無機と有機を調和したシックな仕上りのシーラーレス&トップコートレス塗材です。付着力が強く、耐候性、耐汚染性、防カビ、防藻性にも優れていますので、新築・改装のいずれにも適応します。

### ● 汚れにくい

結合材の無機系バインダーにより、塗膜表面が親水性を帯びますので、継続的な塗膜汚染が少なく美観を保持します。

### ● 防カビ・防藻

壁面のカビ・藻の発生を抑制するとともに、カビ・藻による塗膜の劣化を防ぎます。

### ● 下地の動きに追従

微弾性がある可とう形塗材で、下地のヘアークラックに追従します。

### ● 透湿性

室内の湿気を屋外へ逃がし、塗膜のふくれや結露などを防止します。

### ● 艶消し仕上げ

落ち着いた雰囲気艶消し仕上げのためムラが出にくく、安定した仕上がりが得られます。

### ● 省工程

シーラー、トップコートを省略し、主材の塗布だけで仕上がります。

# ダイヤスーパームキ

## 標準施工仕様

### スーパームキロール (さざ波模様)

国土交通省 防火認定材

工程	材料	割合	所要量	塗回数	間隔時間※1	施工用具
模様塗り	ダイヤスーパームキロール 清水	16 kg 0.5~0.8%	0.6~0.7 kg/m <sup>2</sup> 23~26 m <sup>2</sup> /缶	1	5時間以上	多孔質ローラー
平塗り	ダイヤスーパームキロール 清水	16 kg 1.6~2.4%	0.25~0.3 kg/m <sup>2</sup> 54~64 m <sup>2</sup> /缶	1	—	中毛ローラー

### スーパームキロール (ステップ模様)

国土交通省 防火認定材

平塗り	ダイヤスーパームキロール 清水	16 kg 1.6~2.4%	0.5~0.6 kg/m <sup>2</sup> 27~32 m <sup>2</sup> /缶	2	5時間以上	中毛ローラー
-----	--------------------	-------------------	--	---	-------	--------

### スーパームキタイル (凹凸模様) ※JIS外

平吹き	ダイヤスーパームキタイル 清水	16 kg 1.6~2.4%	0.6~0.7 kg/m <sup>2</sup> 23~26 m <sup>2</sup> /缶	1	5時間以上	ジュラクガン口径 6mm 吹付圧 4~5 kg/cm <sup>2</sup>
模様吹き	ダイヤスーパームキタイル 清水	16 kg 0~0.32%	0.6~0.7 kg/m <sup>2</sup> 23~26 m <sup>2</sup> /缶	1	—	タイルガン口径 6.5mm 吹付圧 2~3 kg/cm <sup>2</sup>

### スーパームキタイル (ゆず肌模様) ※JIS外

平吹き	ダイヤスーパームキタイル 清水	16 kg 1.6~2.4%	0.5~0.6 kg/m <sup>2</sup> 27~32 m <sup>2</sup> /缶	1	5時間以上	ジュラクガン口径 6mm 吹付圧 4~5 kg/cm <sup>2</sup>
模様吹き	ダイヤスーパームキタイル 清水	16 kg 0~0.6%	0.5~0.6 kg/m <sup>2</sup> 27~32 m <sup>2</sup> /缶	1	—	ジュラクガン口径 6mm 吹付圧 4~5 kg/cm <sup>2</sup>

※1 間隔時間は、標準状態 (23℃、50%RH) での時間を示します。

## 梱包単位

ダイヤスーパームキロール ..... 16 kg 缶

ダイヤスーパームキタイル ..... 16 kg 缶

## 適用下地

### ●直接施工できる下地

表面の汚れや粉状物などが除去・清掃されたアクリルリシン  
や硬質系の吹付け下地などの**改装時**

### ●下地調整を要する下地

- モルタル、現場打ちコンクリート(RC)、石綿スレートなどの無機質の**新設下地**：**ダイヤワイドシーラー処理**
- 押出成型セメント板、GRC板などの緻密な下地：**ダイヤシーラーエポ処理**
- ALCパネルなどの多孔質下地：**ダイヤカチオンフィラーなどのフィラー処理とダイヤワイドシーラー処理**
- 粉化が著しい既存塗膜の塗り替え下地：**ダイヤワイドシーラー処理**

### ●塗装できない下地

**新設時**：木材、金属類 (鉄、ステンレス、トタンなど)  
**改装時**：下地への付着が弱い旧塗膜、弾性旧塗膜

## 施工・管理上の注意点

### 【塗後の調整 (新設)

- ① 養生に付着している塵、油、油脂、レタス等を完全に除去して下さい。
- ② セメント質下地は、表面の含水率10%以下 (pH10以下) になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要となります。
- ③ 雨上がり後は、均一に乾くまで施工して下さい。
- ④ PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
  - ① 豆板、木コン、破損箇所、不陸などはセメンジャー#2000、セメンジャー#2500等の下地調整材使用し、補修して平滑して下さい。
  - ② 表面が緻密でレタス層がある場合は、レタスを除去し、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。

### 【塗後の調整 (改修・改修共通)

- ① 原上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ② 使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- 【塗後の調整 (改修)】
  - ① 各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理 (ケレン、清掃、高圧洗浄など) を行って下さい。
  - ② 劣化が著しい場合は、取り除いてから施工して下さい。
  - ③ チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- 【材料の保管・管理】
  - ① 開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
  - ② 材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- 【施工】
  - ① 気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨 (雪) 養生をして下さい。

- ② 材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③ 材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。
- ④ 乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤ 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑥ 施工にあたっては、同一方法で、入隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- ⑦ 施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑧ 本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- ⑨ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑩ 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑪ 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑫ 一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑬ 塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑭ フッ素や無機系などの難接着塗料処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。
- ⑮ 可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑯ 使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑰ 濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。
- ⑱ 下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- ⑲ シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。

### 【安全衛生上の注意】

- ① 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
  - ② 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
  - ③ 子供の手の届かない所に保管して下さい。
  - ④ 作業中・作業後は十分換気を行ってください。
  - ⑤ 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
  - ⑥ 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑦ 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
  - ⑧ 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
  - ⑨ 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
  - ⑩ 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 【その他】
- ① その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
  - ② 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。
  - ③ 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート (SDS) をご確認ください。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは  
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。  
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(\*26.1月現在) 26.01.500 SJ